



地方独立行政法人青森県産業技術センター

畜産研究所ニュース

第 2 号
2015.10.5

巻頭言 【畜産再興プランに対応した試験研究の推進】

国では、本年 3 月「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」を策定し、今後 10 年間を見据えた取り組みを提示しています。このうち、当面 3 年間で緊急に対応すべき課題として、「繁殖雌牛の増頭」、「酪農生産基盤の強化」、「飼料の増産」の 3 本を決定しました。

当研究所においても、これら 3 課題の実現に貢献できる研究課題がいくつもあります。これまでに成果を得て普及に移したもののや、現在、取り組み中の課題について、主なものを紹介します。

「技術」は言わば「商品」であり、現場で活用されてこそその観点から、これらの技術について一層の普及拡大や開発を加速し、生産者の所得向上に結びつけて参ります。

引き続き、関係団体や生産者の皆様方のご支援やご提案をいただきますようお願いいたします。

繁殖雌牛の増頭

研究の成果・狙い

1 回のホルモン注射で牛からの採卵が可能 (H22 指導参考事項)	数回のホルモン注射でなく、 1 回の注射で採卵可能な技術を開発 受精卵の低コスト化に貢献
OPU (経膈採卵・体外受精技術) で高齢牛から受精卵を採取 (H22 指導参考事項)	OPU を利用すれば 高齢で繁殖不適となった高育種価牛からも受精卵が生産可能
牛に負担が少ない短期連続採卵技術の開発 (取り組み中)	1 回のホルモン注射技術を応用 これまでよりも少ないホルモン量で 6 か月間に 3 回連続で採卵し、計 15 個の受精卵を確保

酪農生産基盤の強化

研究の成果・狙い

暑熱期における TMR の適切な水分含量の解明 (H25 指導参考事項)	変敗しやすい暑熱期の TMR について、 自由採食では水分 45%、複数回給与では 55% に調製することにより採食量が確保できる。
乳牛のルーメン安定性向上のための TMR 給与技術の改善 (取り組み中)	分娩後の乾乳期飼料から TMR に切り替える場合、 牛への負担が少ない移行管理を解明して乳量アップと供用期間の延長を狙う。

飼料の増産

研究の成果・狙い

優良品種の選定試験 (県奨励品種の選定)	改廃のめまぐるしい飼料作物について、本県の気象や土壌に適した優良な品種を選定 県奨励品種として普及することにより、 粗飼料の増産と利用拡大に貢献
高栄養トウモロコシサイレーシ生産のための新たな栽培・調製技術の開発 (取り組み中)	トウモロコシのサイレーシ調製で、消化性の低い茎部を残して収穫する“ 高刈り ”と畦幅を狭める“ 狭畦栽培 ”を組み合わせた画期的方法の開発を狙う。

【最新の技術情報】

県基幹種雄牛「優福栄」の評価が急上昇

「優福栄」は三代兵庫系の種雄牛で、24年度に県基幹種雄牛に指定されました。残念ながら平成25年5月に若くして死亡しましたが、生涯の精液生産本数は約1万4千本、うち1万1千本が県内生産者に供給されています。



「優福栄」



青森県肉用牛枝肉共進会
最優秀賞枝肉

本年度から本牛の一般出荷が始まったため、徐々に肥育成績が判明している状況ではありますが、肥育農

家の上々の評価を得ており、中でも、去る8月21日に東京芝浦で県畜連主催により開催された青森県肉用牛枝肉共進会では、出品牛全36頭中、最優秀賞を含む3頭の「優福栄」産子が受賞しました。

最優秀賞の枝肉は、一般社団法人東通村産業振興公社が出品したものであり、2代祖「第1花園」、枝重593kg、BMS No.10の成績で、県内に多数保留されている「第1花園」娘牛との相性の良さが改めて示されました。

また、8月29日に県家畜市場で開催された青森県肉用牛共進会では、「優福栄」の娘牛「第3ふくてる」（田子町尾形喜悦さん出品）がグランドチャンピオンに選ばれました。



グランドチャンピオン
「第3ふくてる」号

これらの成績を踏まえて当研究所では、OPU技術の活用や、県内和牛改良組合との連携を強化しながら「優福栄」の後継種雄牛づくりを加速化していくこととしています。

【各部の動き】

～繁殖技術肉牛部～

<家畜人工授精講習会の開催>

去る8月25日から9月25日の1か月間、営農大学校と当研究所にて家畜人工授精講習会が開催されました。

営農大学校生の8名を含む27名が受講し、学科66時間、実習74時間の長期間の講習会でしたが、全員が無事に受講を終了できました。

実習ではほとんどの受講生が初めての体験であったため、精液注入器を子宮外口に当てられず、疲れて腕が動かなくなりつつも、講師から何度もコツを聞きながら頑張っている様子がみられました。

今回の受講生全員が最終試験に合格し、それぞれの地域での生産活動に貢献して下さることを大いに期待しています。



汗だくで取り組む受講生たち

～中小家畜・シャモロック部～

＜畜産イベントでプレミアム青森シャモロック好評＞

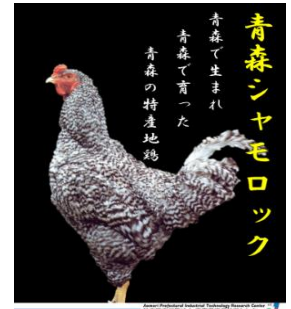
去る6月27～28日に青森市アスパムで開催された「あおもり大畜産まつり」や、9月13日に青森市スポーツ公園で開催された「あおもりマルシェ」において「プレミアム青森シャモロック」が完売と大変好評をいただきました。



大畜産まつりでの販売

「プレミアム青森シャモロック」とは、地鶏のプロの方々のご意見を参考とし、特別な飼料を給与するとともに、通常より1か月間長く飼育した言わば「究極のシャモロック」です。

これまでは畜産研究所内だけの限定生産でしたが、現在は県内2カ所の農場で現地生産を実証しており、ここでの肉質評価を終えた後の来年度から本格的な生産・販売に入る方向です。



最新ポスター（試作中）

当研究所では、今後も生産者と連携し、最高級地鶏の逸品として「プレミアム青森シャモロック」を売り出すこととしていますので、今後とも関係者の皆様方のお引き立てをよろしくお願いいたします。

～酪農飼料環境部～

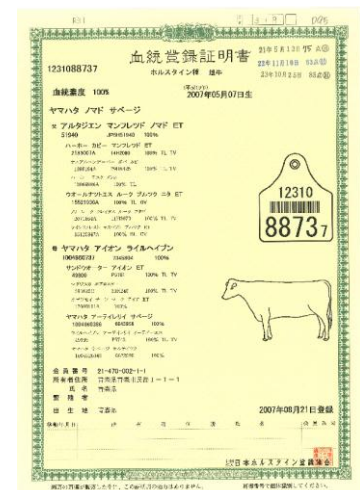
＜当所の搾乳牛が優秀雌牛表彰を獲得＞

当研究所で生産された「ヤマハタノマドサベージ」号（平成19年5月7日生まれ）が生涯乳量 51,050kg、決定得点 85点を記録し、家畜人工授精事業体協議会(国内の乳牛用精液販売団体3社で構成)から優秀雌牛の表彰を受けました。



この賞は、近年、乳用牛の短命化が大きな課題となっている中で、生涯乳量5万キロ、体型得点85点以上の国内後代検定済種雄牛の娘牛を条件としており、県内での受賞頭数も年間数頭のものとなりますので、大変名誉なことと感じております。

今回の受賞を契機に、試験牛の改良をさらに進めていくとともに、本県酪農の生産基盤の強化に向けて、乳用牛の長命連産化を可能とする飼養管理技術など、生乳生産コストの低減を目指した試験研究に一層力を入れて参ります。



また、当研究所では、本年度から（一社）青森県畜産協会と連携して、北部上北地域の酪農家へ対する濃密な経営指導を展開しているほか、乳用牛群検定実施農場へのデータ分析等を通じきめ細かい技術指導にも対応しておりますので、何かありましたらご相談ください。

～和牛改良技術部～

＜種雄候補牛の中間成績＞

今年度中に現場後代検定が終了し、検定成績が判明する種雄候補牛は、平成 24 年度全国和牛能力共進会長崎大会(通称：和牛オリンピック)の若雄の部に本県初の出品を果たした「光希望(みつのぞみ)」や、系統雌牛群にて乳徴賞を受賞した三戸地方育種組合の「かとう 1 系」から生産された「安平福 3」、本県の種雄候補牛として初めての安福久産子となる「北勝久(きたかつひさ)」などが注目されています。

また、成績が判明した頭数が全調査牛の半数に満たないため、これから大きく変動する可能性があります。現段階では「安平福 3」の BMS No.の良さが目立っています。

年度末に全頭の検定が終了した際には、再度、改めて最終成績を紹介いたしますので、新たな基幹種雄牛の誕生をご期待ください。

名号	血 統			頭 数		成 績	
	父	2代祖	3代祖	調査頭数	判明頭数	枝重(kg)	BMS No.
安平福 3	安平照	平茂勝	第 5 平茂	1 8	7	4 5 5	8. 6
北勝久	安福久	平茂勝	北国 7 の 8	1 9	7	4 3 4	5. 9
光希望	第 1 花国	安平	平茂勝	8	5	4 6 7	6. 6
光福花	勝忠平	第 1 花国	紋次郎	1 4	5	4 7 3	5. 2

【追加情報】＜父「第 2 花国」の肥育牛が佐賀牛の枝肉共励会で最優秀賞＞

昨年度、「第 2 花国」が稲 SGS 試験で優れた肥育成績を出し、話題となりましたが(県家畜市場の HP に紹介されています)、7 月 3 日に神戸市で開催された第 19 回佐賀牛枝肉共励会でも「第 2 花国」産子の雌が最優秀賞を獲得しました。(ローヌ芯 96 cm、BMSNo 12、2 代祖「安福久」×3 代祖「第 2 平茂勝」)

県内での凍結精液の利用は「第 1 花国」の存在により、なかなか多くならない現状にありますが、能力は全国の品評会でも高く評価されています。



青森県産業技術センターの 13 研究所が力を結集して
青森の産業を支えます！

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 畜産研究所

〒039-3156
上北郡野辺地町字枇杷野 51
TEL 0175-64-2231
FAX 0175-64-2230

(和牛改良技術部)
〒038-2816
つがる市森田町森田月見野 558
TEL 0173-26-3153
FAX 0173-26-3205

HP <http://www.aomori-itc.or.jp>

Youtube 公式チャンネル <http://www.youtube.com/user/aitcofficial>

畜産の技術について何かありましたらお気軽におたずねください。